



折り重なったいくつもの線が美しい形状を生む

## LINE

Exterior Design, Shizuoka  
Designer Tom Fukumoto/Chubukensyo

建築予定地／静岡県榛原郡吉田町

設計／福本登夢  
部材／カーポート 化粧ブロック フェンス タイル 塗り壁 角柱 デッキ 照明 景石 ピンコロ

ここは静岡県の中部にある分譲地の物件。その1区画に立てるのは友人の兄家族。その家族から外構をデザインしてほしいと相談を受けた。  
SNSで見つけたこのデザインを取り入れてほしい。そう言って見せていただいたのが乱格子状になっているフェンスであった。乱格子を取り入れたいが開放感がありすぎるため何かいい案はないかと相談を受けた。

折り重なるいくつもの線が  
美しい形状を生む

特徴的なアプローチを通して先鋭化し、居住者はもちろん、訪れた人が記憶に残るようなデザインをした。  
縦線や横線、斜線を用いた格子の構成によって空間をあいまいに間仕切った。

空間の広い狭いを格子に連続性を持たせ表している。  
大人も思わず楽しくなるような場所を設け、家族や訪れた方と、この空間を楽しんでもらうことを期待している。

## 空間構成

アプローチで様々な楽しみ方を提供する



特徴的なアプローチ



訪れた方と長くコミュニケーションが取れるスペース

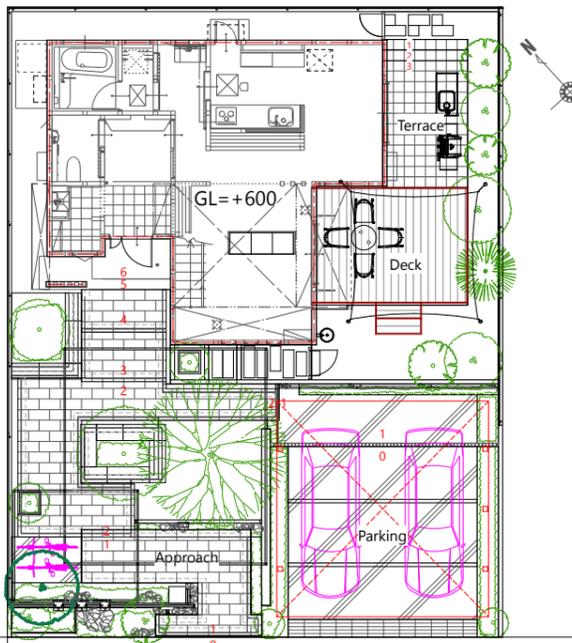


乱格子の門壁が目立ち浮いてしまわぬよう線を取り入れたものを全体に配置しようと考えた。スクエア型の構造物は、蹴込階段の浮遊感を用いてデザインをした。建物は縦のラインが強いため、外構では横ラインを意識し、使用することにした。横ラインだけでは味気なく感じてしまうため、角柱を立てバランスをとるようにした。

乱格子の木漏れ日のような影の雰囲気をもたすために常緑を多めにしている。常緑ばかり入れると重たく抜け感がなくなってしまうため、落葉も程よく入れている。仕様樹木/アオハダ コナラ クロモジ ナツツバキ アズキナシ シマトネリコ オリーブ ヤマボウシ ジューンベリー ナンテン ヤマモモ

上/塗り壁の後ろ側は、駐輪場スペースとなっている。玄関に向かう途中には世間話等できるように、花壇兼椅子を設置した。下/横のラインを意識した駐車を作りたいと思い、土間には部材のラインに合わせるようピンコロの目地を採用した。サイドパネルで目隠ししながらも縦ラインを意識している。





GL=±0 Scale 1/200

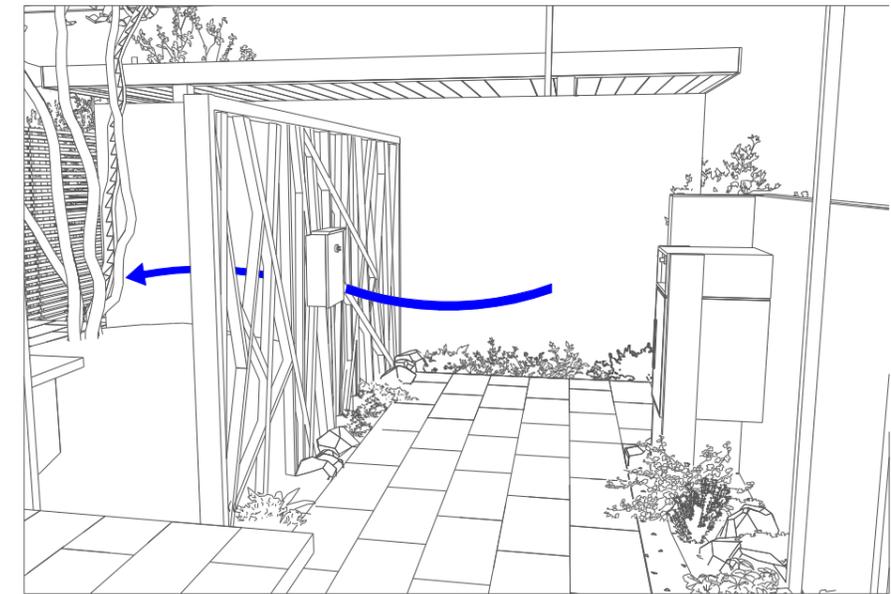


South elevation Scale=1/150

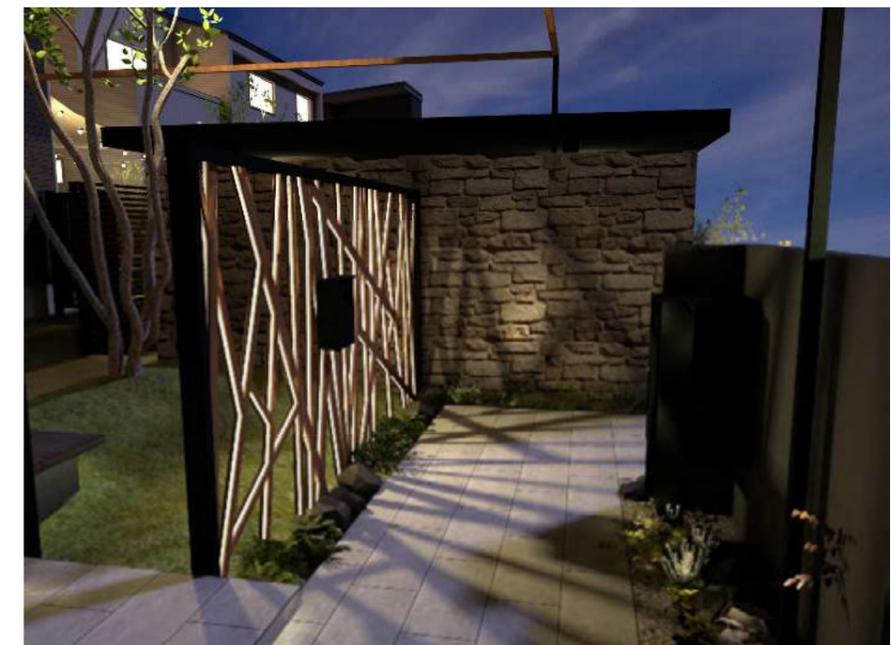
全体的に線があり、うるさくなってしまったため、アプローチと駐車場の間に背の高い石張りの壁でまじ切ることにより、全体に線が入っているが空間をまとめるようにした。  
樹木配置の計画では、三角植えを意識し配置をしていった。



上/本来の門袖は重厚感があり圧迫している。  
しかしこのデザインは光と風を採り入れながら  
周囲の視線を上品にやさしく遮る。  
光・影・気配といったニュアンスを抽出するた  
めに太い格子、細い格子を織り交ぜた。  
下/夜は照明との相性が良く、のびやかな影に  
より空間の広がり演出する。



折り重なるいくつもの  
線が木漏れ日のような  
影のゆらぎを生み、  
その美しい影が空間の  
広がりを生む。



塗壁部分にある角柱を塗壁との間をあけることで、照明の光が木漏れ日かのようにライトアップされる。木漏れ日のような照明は、やわらかく温かみある光によって優しく包み込む。



折り重なったいくつもの線が美しい形状を生む

## LINE

Exterior Design, Shizuoka  
Designer Tom Fukumoto/Chubukensyo

